


ステップ

1

現状把握

3つの視点で状況を「見える化」しよう

まず自社の状況をきちんと把握し課題がどこにあるのか分析します。できるだけ現場の声を丁寧にヒアリングし、様々な観点からデータや情報を収集することが重要です。ポイントは以下の3つの視点です。


**組織の現状
見える化
チェック**


データ・数字

- ① **女性採用比率**
採用人数における女性比率、職種や部門別採用比率、再雇用制度の有無、正規従業員転換制度の有無、男女の賃金格差の有無など
- ② **勤続年数男女差**
男女の平均勤続年数、3年目、10年目の定着率、出産時の定着率、男女の育児休業取得率、産前産後休暇・育児休業からの復帰率など
- ③ **労働時間の状況**
平均残業時間数、年次有給休暇取得率、時間単位の有休取得の有無、育児短時間勤務の有無及び取得者数など
- ④ **女性管理職比率**
管理職全体における女性比率、女性社員全体における女性管理職、年代別・職種・部門別にみる男女の管理職比率、係長・主査など管理職候補における女性比率など


制度・仕組み

- ① 配置・育成・評価・昇進などについて、ポジティブアクションなどを意識した仕組みの有無
- ② 転勤への配慮の有無（異動の配慮・配偶者同行制度・一時休職制度等）
- ③ フレックス勤務、在宅勤務制度、ノー残業デーの設置など男女を含めた働き方の改革・ワーク・ライフ・バランスへの取組の有無



組織風土・意識

- ① 上司・部下や社員間など社内コミュニケーションの質と量
- ② 働きやすさ（配慮やケアの視点）と働きがい（公平・フェアな視点）のバランス
- ③ 女性活躍推進やダイバーシティ（多様性）推進に対する意識
- ④ セクハラ・パワハラ・マタハラなどのハラスメント防止意識の有無



**サクセス
ポイント**

事業主行動計画策定支援ツールを活用しよう!

厚生労働省では、「一般事業主行動計画策定支援ツール」を開発・提供しています。

[女性活躍推進法特集ページ](#) [検索](#)

業種別見える化ツールで業界平均を知る

自社の状況を同業他社と比較したい、業界の状況が知りたい方は、「ポジティブ・アクションを推進するための業種別見える化ツール」を活用して下さい。

百貨店業、スーパーマーケット業、情報サービス業、製造業（電機・電子・情報通信分野）、製造業（加工食品（冷凍食品等）分野）、地方銀行業、製菓業、旅行業、クレジット業、建設業、信用金庫業、貿易・商社業

[業種別「見える化」ツール](#) [検索](#)

フォーカスグループインタビューで現場の声をきく

一見制度や仕組みは整っている組織や、数字的には女性だけが不平等な実態が見えないという組織では、現場の声を拾うことが大切です。

事業主行動計画策定に伴う助成金を獲得できる

事業主行動計画策定を進める上で、申請により助成金がでる場合もあります。

えるぼし認定企業等が公共調達で有利に!

各府省等が総合評価落札方式又は企画競争による調達によって公共調達を実施する場合に、えるぼし認定企業などを加点評価するよう定められました。中小企業は行動計画策定・届出だけでも加点対象となります。

